

最新、住宅事情 (下)

いわき



国内では、注文住宅の8割以上が木造。一方で林業が減退する中、子どもたちに森林に親しんでもらう取り組みも始まっている

住宅事情は変わり続ける。現在は、国によって最新の「省エネ住宅」推進が打ち出されている一方、少子高齢化などを背景に空き家が増加。高品質住宅を求める層と、ローコストな建売住宅などを求める層に分かれる「二極化」も進む。そんな中、個人は何を基準に住居を選択すればいいのか、空き家の増える地域を守る方策はあるのか。専門家からのアドバイスや活動事例などを基に、考えてみる。